

氏名： 亀山 俊朗 (KAMEYAMA Toshiro)  
所属： 教育事業部  
(コミュニケーション・システムの開発によるリスク社会への対応)  
学位： 博士 (人間科学) / Dr.(Human Sciences)  
職名： 講師  
専門分野： 社会学 / Sociology  
E-mail： kameyama.toshiro@ocha.ac.jp

#### ◆研究キーワード / Keywords

社会理論 / 社会政策 / シティズンシップ / ベーシック・インカム  
social theory / social policy / citizenship / basic income

#### ◆主要業績

- ・ 亀山俊朗, 2007, 「シティズンシップと社会的排除」 福原宏幸編『社会的排除 / 包摂と社会政策』法律文化社, 74-100.
- ・ 亀山俊朗, 2008, 「シティズンシップの変容——グローバル化における衰退と再構成」大阪大学大学院人間科学研究科博士学位論文.
- ・ 亀山俊朗, 2007, 「若年者の労働観とキャリア教育政策」『社会情報』(札幌学院大学社会情報学部紀要), 17(1).

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

国民国家を基盤とする近代的シティズンシップは、18世紀にその市民的要素が、19世紀に政治的要素が、20世紀に社会的要素が順次発達したとされる。しかし20世紀の福祉国家的なシティズンシップは、現代のグローバル化やポストモダン化のもと変容を迫られている。近代的シティズンシップの成立と衰退を歴史的に分析し、近年の社会理論や社会政策の中でシティズンシップがどのように再構成されようとしているかを明らかにすることにより、ポスト福祉国家の社会像を考察している。そうした視点にもとづき、フリーター・ワーキングプアなどの昨今の社会問題の調査研究や、ベーシックインカムなどの新しい社会政策の検討を行っている。

## ◆研究計画

1. シティズンシップとグローバル化に関する理論研究。大阪大学「シティズンシップ研究会」による書籍『シティズンシップと現代（仮）』の発刊。
2. 近代日本のシティズンシップに関する歴史研究。
3. 社会政策構想、とくにベーシックインカム構想のシティズンシップ概念にもとづく評価。